

3-8 関東地域における三成分ひずみ計及びIBOSによる最近の観測結果（2002年5月から2003年4月まで）

Results of Continuous Observation by Sakata-type Three-Component Strainmeters and IBOSes in Kanto District (from May, 2002 to April, 2003)

防災科学技術研究所

National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

前報¹⁾に引き続き、最近の観測結果について報告する。

第1図及び第2図は、坂田式三成分ひずみ計八郷1号機及び2号機による、2002年5月を含む最近1年間のひずみ変化を6か月間毎に表したものである。第3図は甲府による同様のものである。前回と同様に、今回もひずみ変化の観測結果を直接表示している。E1D, E2D, E3D及びDIL, SMAXの意味については以前の連絡会報²⁾を参照してほしい。ただしこの中で、「線ひずみ」とあるのは正しくないので、すべて「ひずみ」に訂正する。

八郷1,2号機においては、昨年の場合とほとんど同様に、8月を中心に大きな土地膨張が見られる。このような現象は過去にも数回起こっている。雨の影響とは考えられないので、実に興味深い現象である。なお、2002年9月からはいつもながらの様な収縮が続いている。傾斜計については、1成分が故障しているため、観測結果を提出していない。甲府では、定常的なクリープによる収縮はもはや見られず、大きな変動はむしろ気象によるものと思われる。はっきりした収縮が今も続く八郷とはかなり異なった状況にある。

第4図、第5図及び第6図は、玄倉、平塚及び真鶴のIBOSによる最近1年間の観測結果である。降雨の影響が玄倉において著しいのは、いつものことである。ただし、7月の降雨により傾斜、ひずみとも大きな変化を受けているのに対し、8月の降雨ではあまり大きな変動が出ていないのは興味深い。

平塚においては降雨よりも気圧変化が大きい影響を持っているようである。ただし、昨年3月と同様に、この3月初めには、たいした気圧変化もないのに傾斜、ひずみに顕著な跳びが認められているのは興味深い。

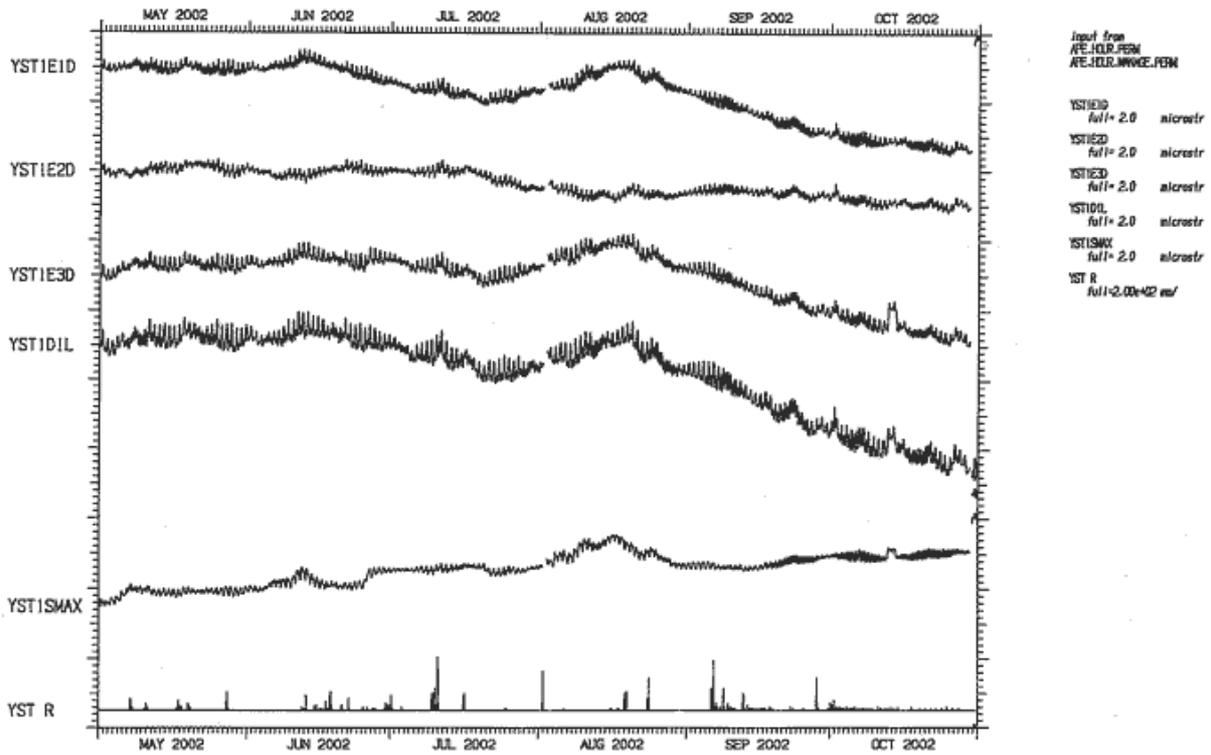
真鶴では、定常クリープによるひずみ計の収縮は今も継続している。前回に引き続き傾斜は一樣な変動を示している。素直に考えると、真鶴半島が長期わたり一定方向に傾動していることになる。それが事実だとすればどのような機構に依るのか興味深い。

(坂田正治)

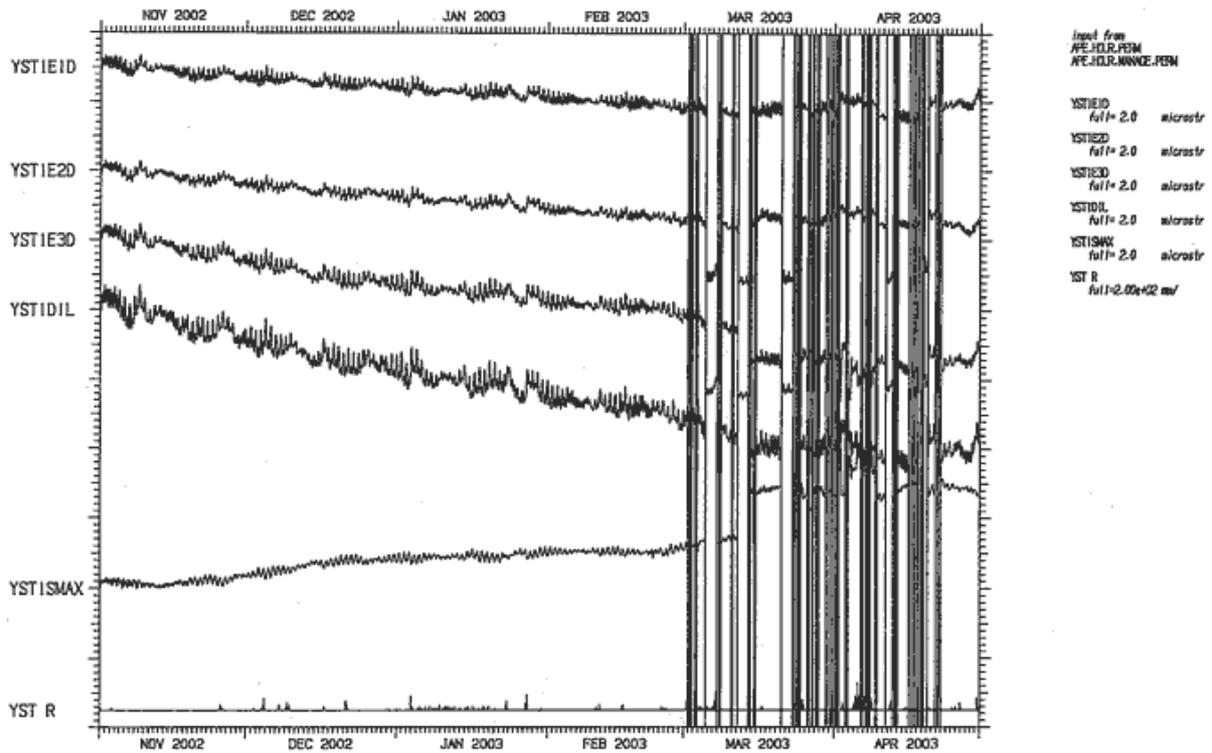
参 考 文 献

- 1) 防災科学技術研究所：関東地域における三成分ひずみ計及びIBOSによる最近の観測結果（2001年5月～2002年4月まで）、連絡会報、68(2002)、157-164.
- 2) 防災科学技術研究所：関東地域における三成分ひずみ計及びIBOSによる最近の観測結果（1994年3月まで）、連絡会報、52(1994)、199-206.

YST1 20020501 00 - 20021101 00 HOURLY DATA



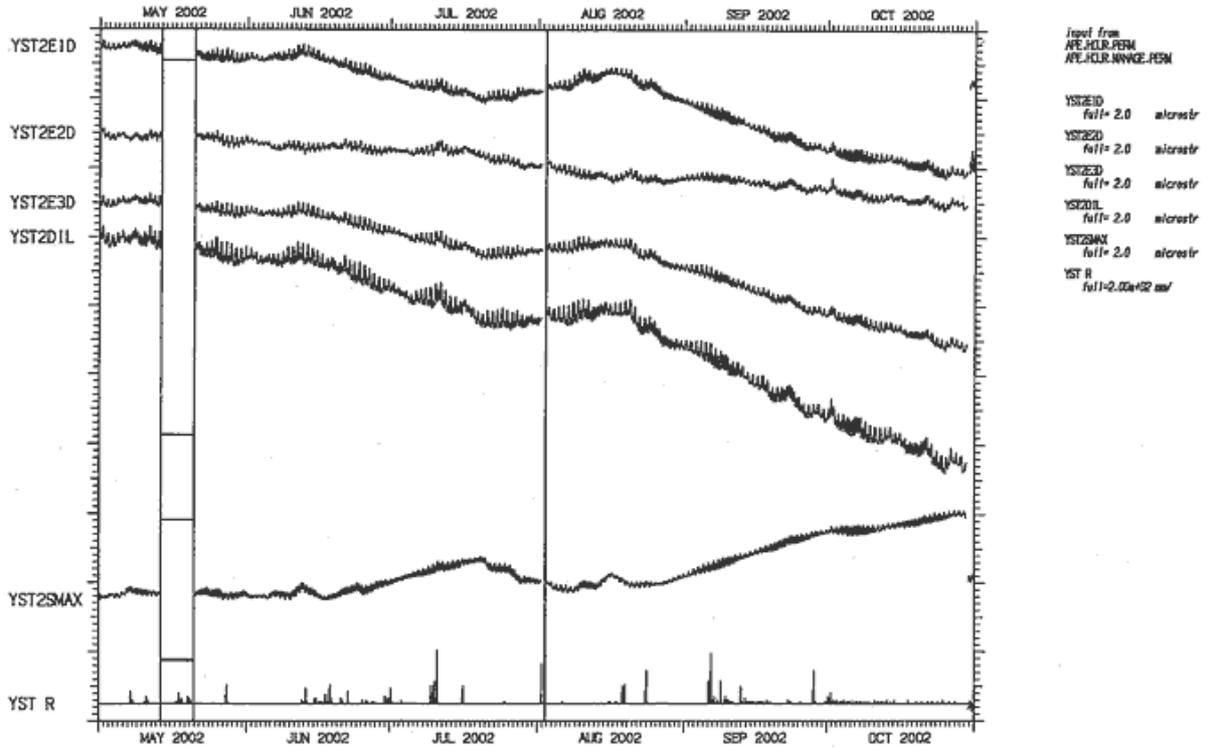
YST1 20021101 00 - 20030501 00 HOURLY DATA



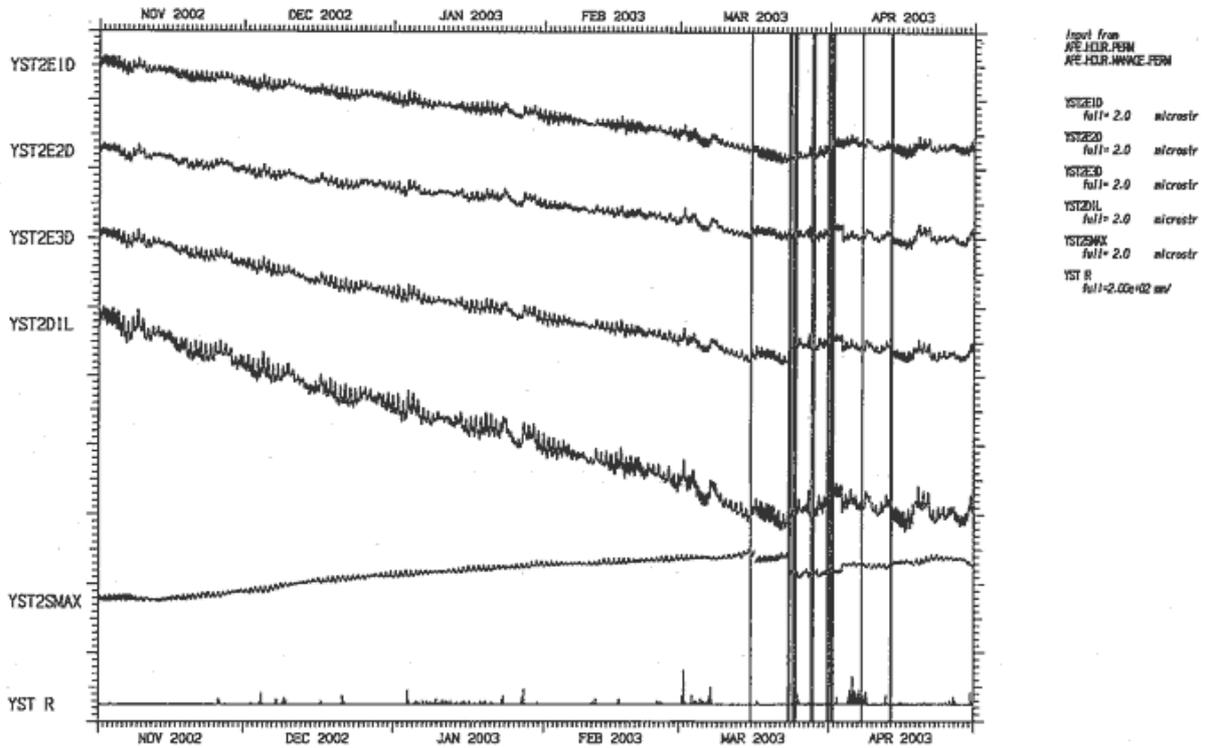
第 1 図 八郷の三成分ひずみ計 1 号機による連続観測結果 (2002 年 5 月 ~ 2003 年 4 月)

Fig.1 Record of continuous observation by No1 three-component strainmeter at Yasato, E1D, E2D, E3D: strains along N00E, N60E, N120E, DIL: dilatation, SMAX: maximum shear, R: precipitation.

YST2 20020501 00 - 20021101 00 HOURLY DATA



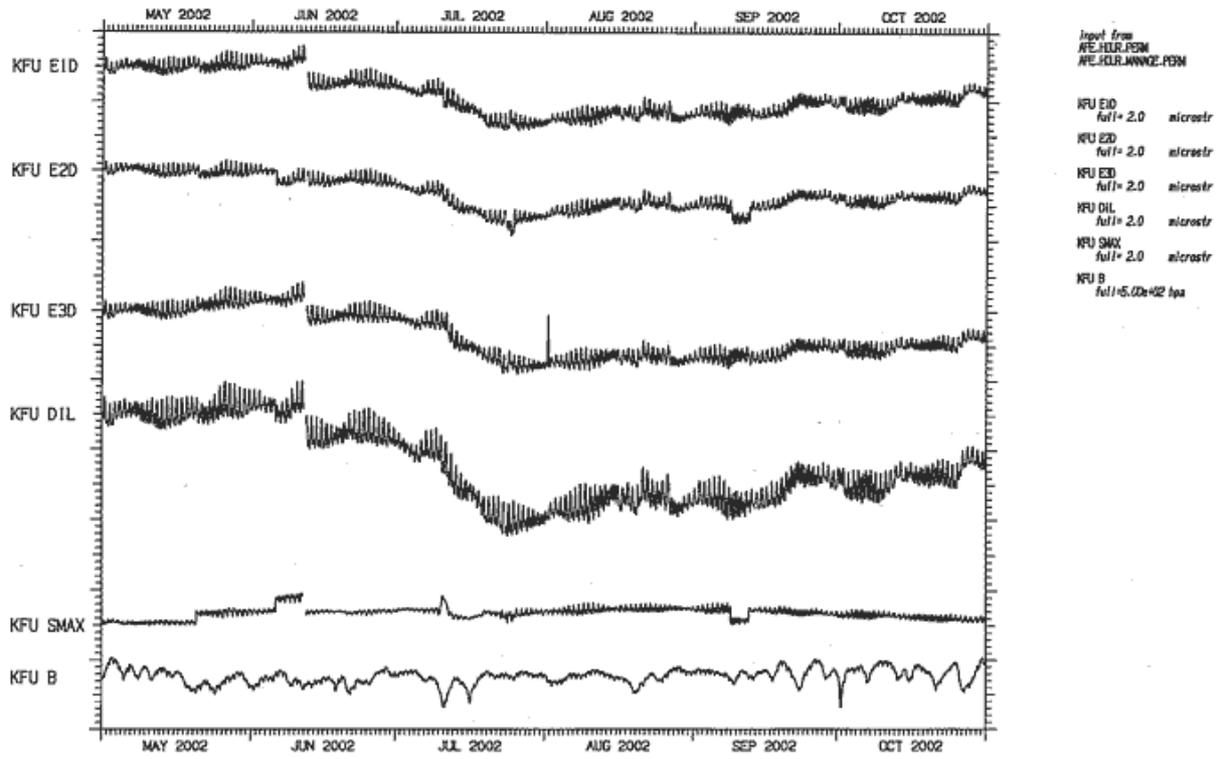
YST2 20021101 00 - 20030501 00 HOURLY DATA



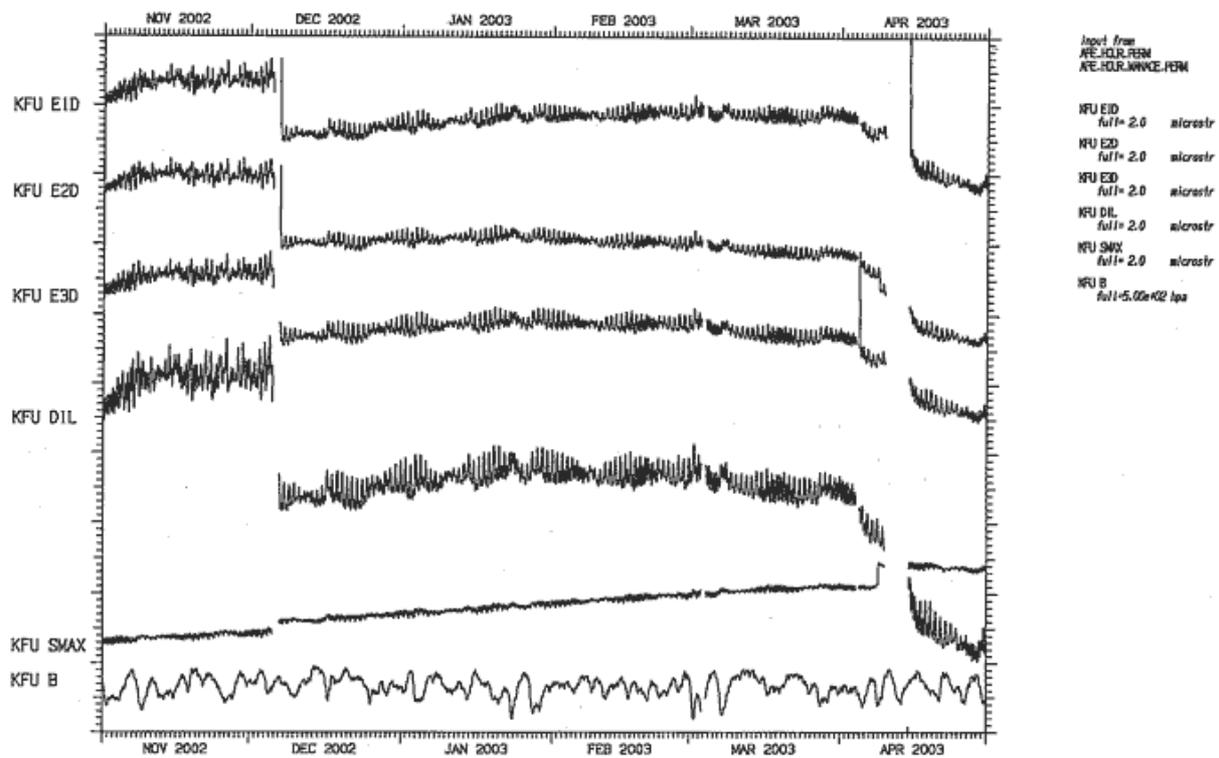
第2図 八郷の三成分ひずみ計2号機による連続観測結果(2002年5月~2003年4月)

Fig.2 Record of continuous observation by No2 three-component strainmeter at Yasato.

KFU 20020501 00 - 20021101 00 HOURLY DATA



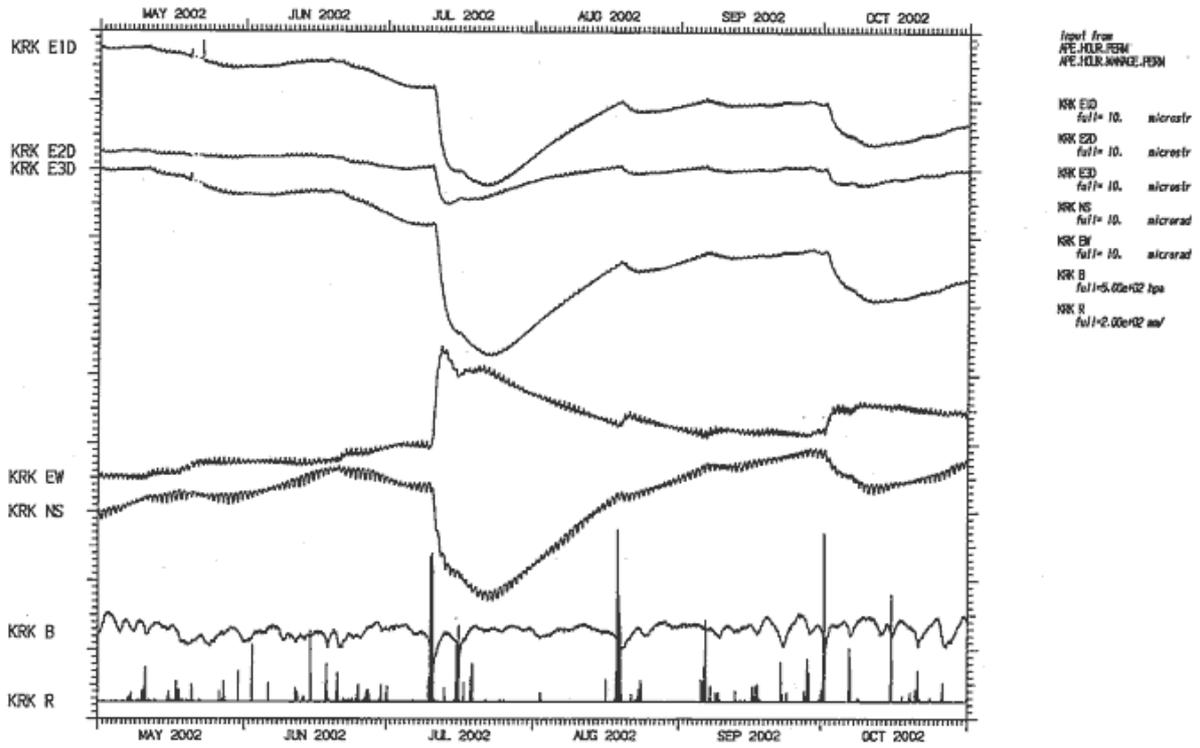
KFU 20021101 00 - 20030501 00 HOURLY DATA



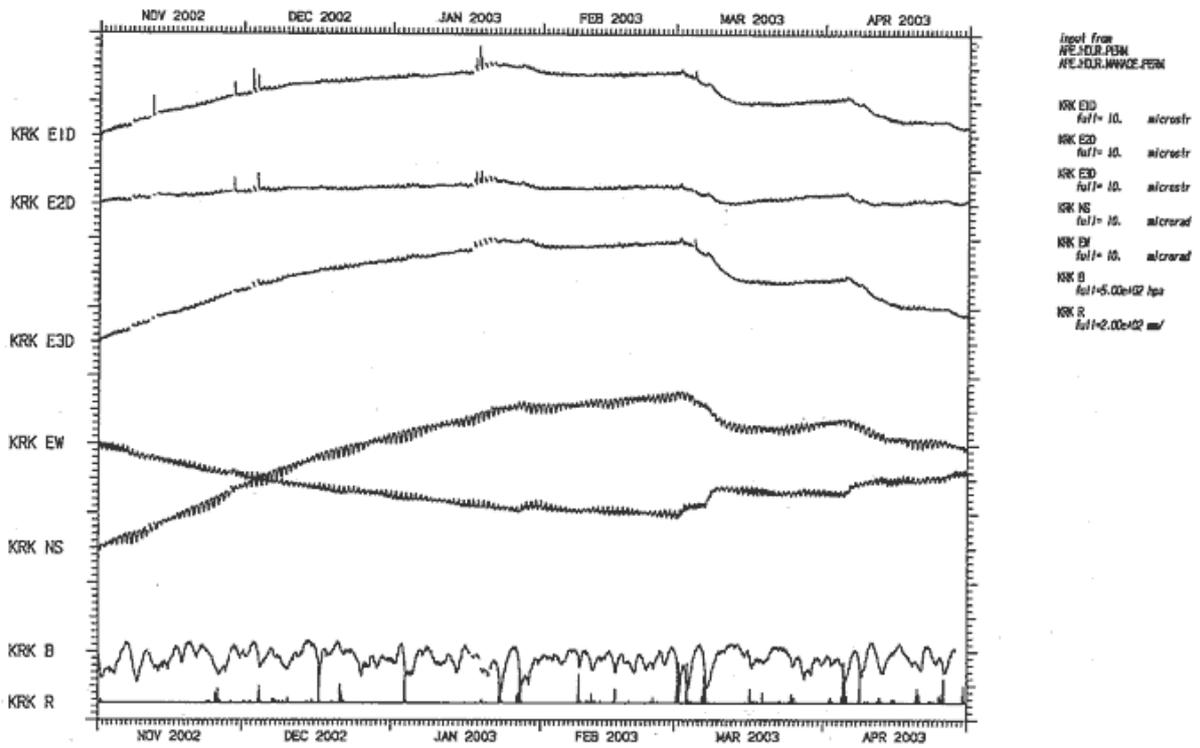
第3図 甲府の三成分ひずみ計による連続観測結果 (2002年5月 ~ 2003年4月)

Fig.3 Record of continuous observation by the three-component strainmeter at Kofu, B: atmospheric pressure.

KRK 20020501 00 - 20021101 00 HOURLY DATA

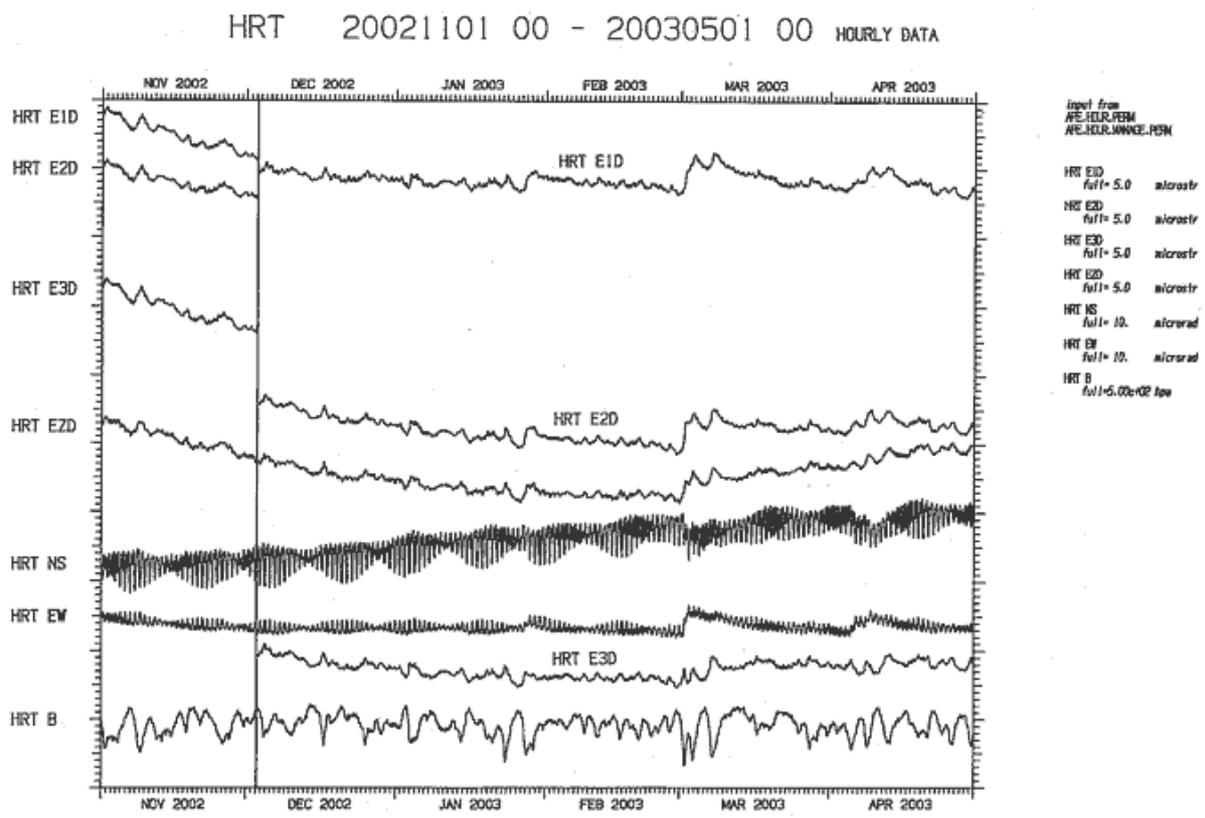
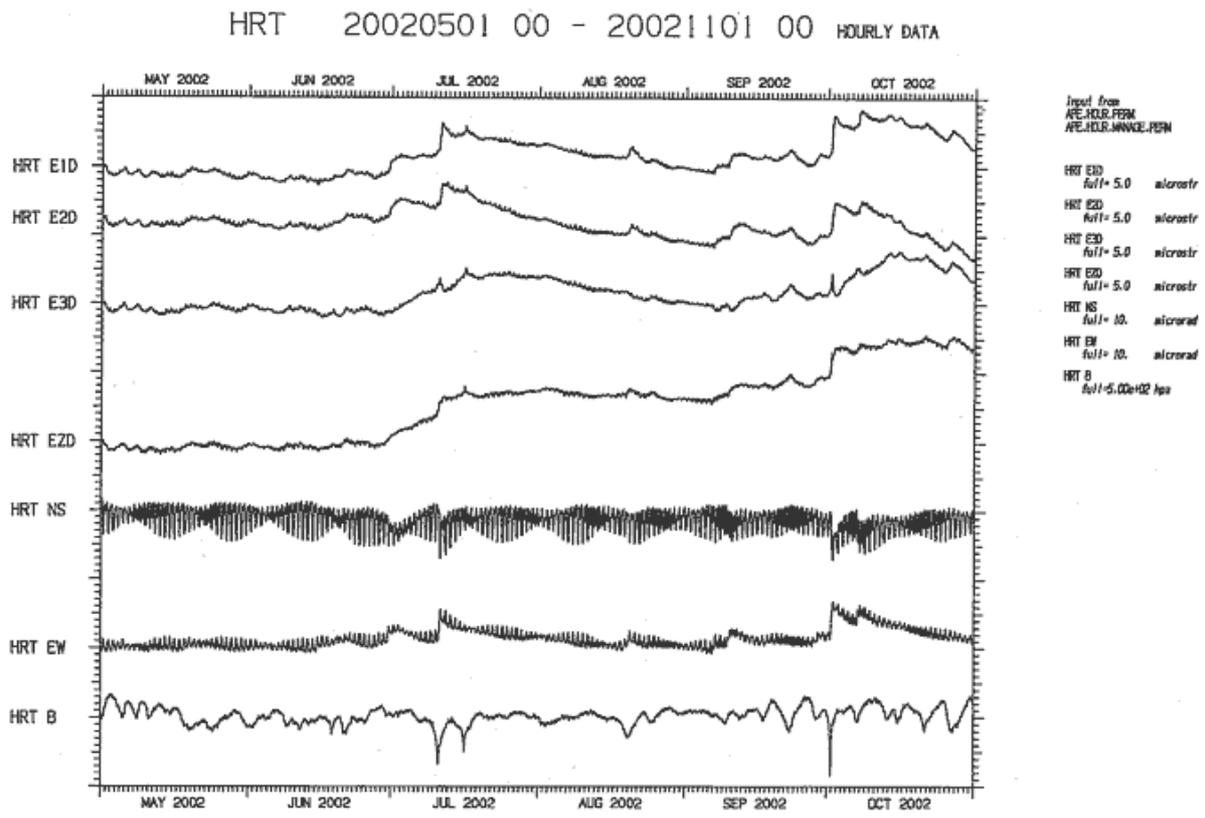


KRK 20021101 00 - 20030501 00 HOURLY DATA



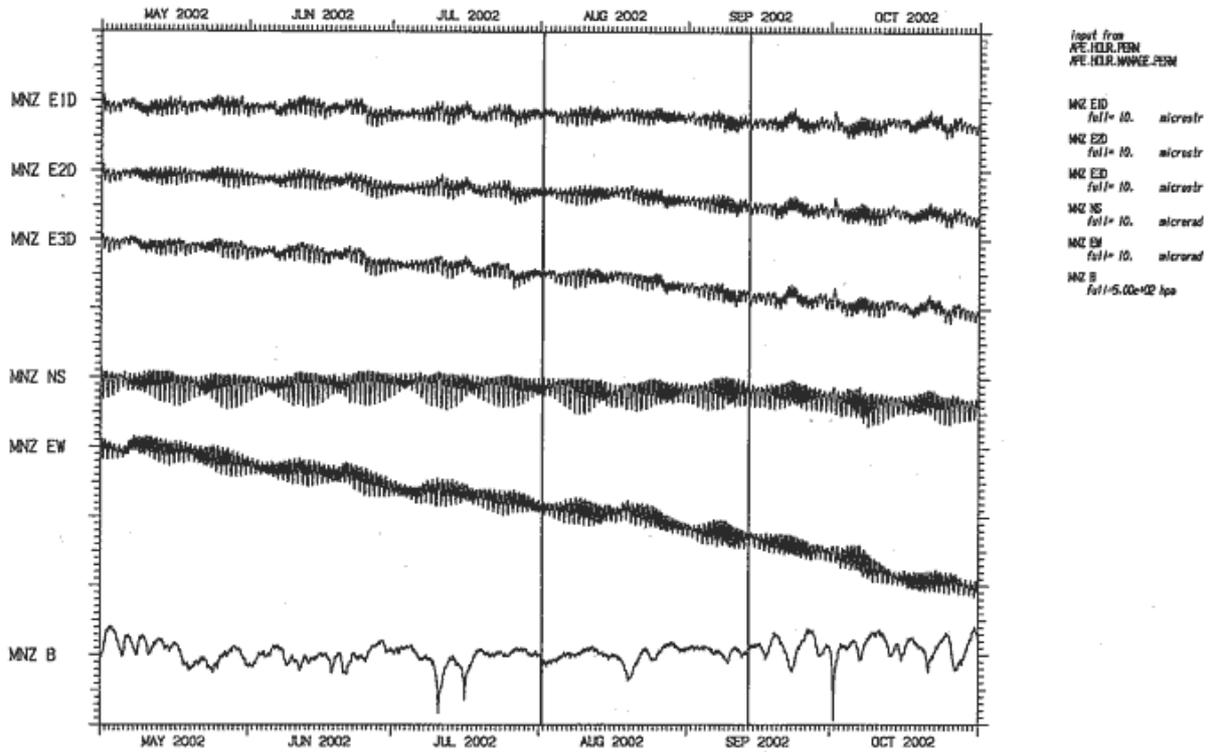
第4図 玄倉のIBOSによる連続観測結果(2002年5月~2003年4月)

Fig.4 Record of continuous observation by IBOS at Kurokura.

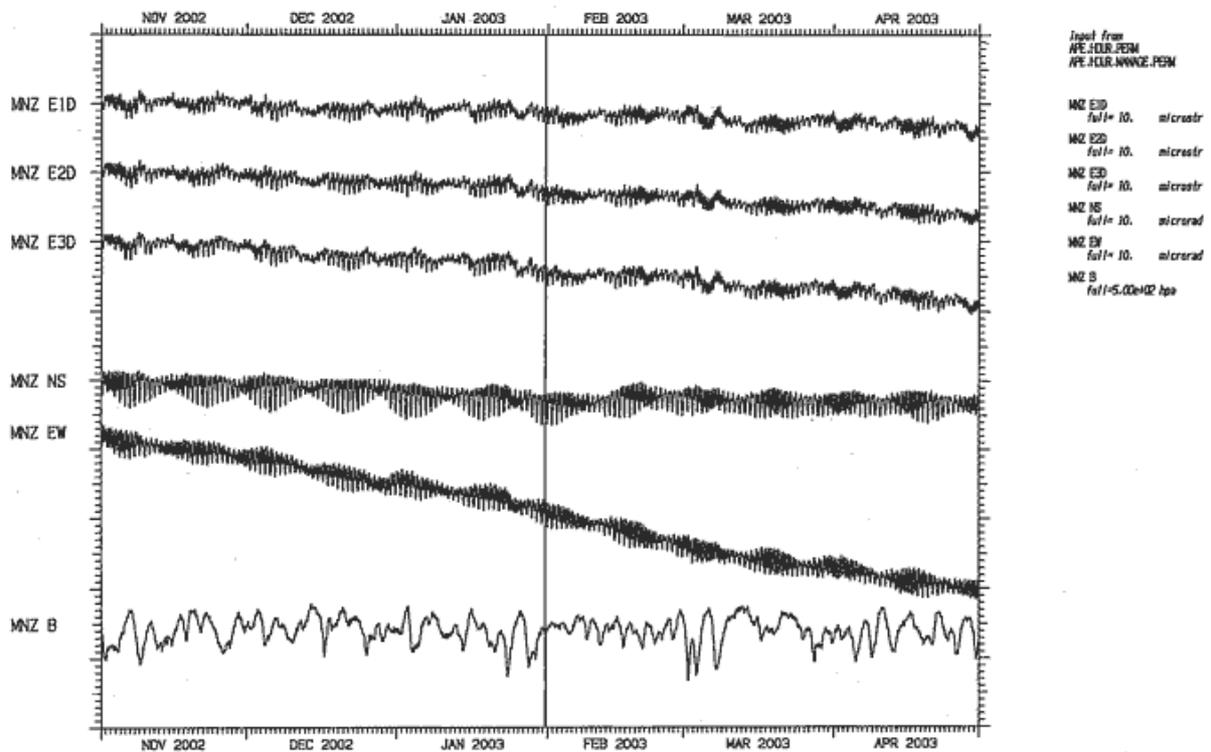


第 5 図 平塚の I B O S による連続観測結果 (2002 年 5 月 ~ 2003 年 4 月)
 Fig.5 Record of continuous observation by IBOS at Hiratsuka, E2D: vertical strain detected by axial strainmeter.

MNZ 20020501 00 - 20021101 00 HOURLY DATA



MNZ 20021101 00 - 20030501 00 HOURLY DATA



第 6 図 真鶴の I B O S による連続観測結果 (2002 年 5 月 ~ 2003 年 4 月)

Fig.6 Record of continuous observation by IBOS at Manazuru.